

県道川越北環状線が全線開通しました！



テープカットでは多くの皆さんが集まりました

市街地を迂回するための環状道路として整備を進めてきた県道川越北環状線。未開通区間である今成2丁目交差点から小室交差点の整備が完成し、3月24日に全線開通しました。

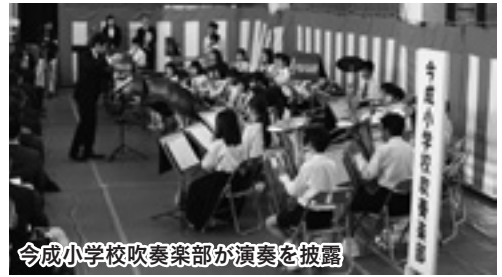


開通した県道川越北環状線



左からときも・ヨバトン・さいたまっち

開通当日、記念式典と記念行事が開催され、今成小学校吹奏楽部による演奏やくす玉開披、祝賀パレードなどが行われました。祝賀パレードは、川越女子高校吹奏楽部による演奏の中、県警白バイ隊の先導で行われました。また、今成囃子連による囃子の実演や県立川越高校応援団による演技などが行われ、地域の皆さんで開通を祝いました。



今成小学校吹奏楽部が演奏を披露



県警白バイ隊が車両を先導



多くの人の声援を受けながら祝賀パレード

ひとまち

ふおとニュース

ひとまち

災いを防ぐ、芳地戸のふせぎ



触れ太鼓を運ぶ子どもたち

3月21日、市指定無形民俗文化財「芳地戸のふせぎ」が行われました。1721年に疫病が流行したことから始まったと伝えられ、約300年近い歴史があります。当日は、午前中に尾崎神社(笠幡)でみこしと辻札を作り、

午後から神社を出発し、地区内を回ります。

子どもから大人まで約40人が集まり、触れ太鼓を先頭に辻札を持った子どもたちが後に続きます。約2時間30分かけて地区内を回りました。辻札は、翌年のふせぎが行われるまで、災いが入ってこないように地区の境に立てられます。



子どもたちが手にしているのが辻札です

ラッピング車両が登場

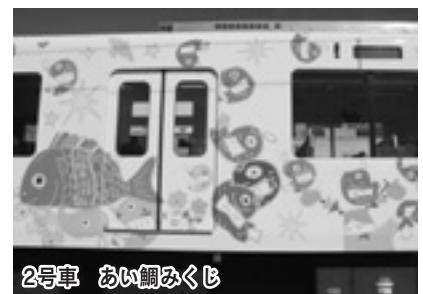


上り方面の先頭車両。時の鐘のイラストが描かれています

東武東上線にラッピング車両「池袋・川越アートトレイン」が登場しました。同車両は、

10両編成の車両ごとに、時の鐘や菓子屋横丁、川越まつりなど、川越をテーマにした日本画が彩り鮮やかに描かれています。池袋駅から小川町駅の間を走り、通常の種類のほか、池袋駅から川越駅間を最速26分で結ぶ特急料金不要の新種別「川越特急」としても運行されています。

ラッピング車両は1編成のみの珍しい車両です。どんな絵が描かれているかは、見てのお楽しみです。



2号車 あい鯛めぐじ